

問1 日本の諸地域のうち関東地方の地理的特徴について述べた文として、県庁所在地の名称を含めて正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)

1. 関東地方の北東部に位置し、東北地方と接している茨城県の県庁所在地は水戸市、栃木県の県庁所在地は宇都宮市である。
2. 関東地方の北部に位置し、福島県と境界を接する栃木県の県庁所在地は前橋市、茨城県の県庁所在地は水戸市である。
3. 東北地方との境界線上に位置する茨城県の県庁所在地はさいたま市、栃木県の県庁所在地は宇都宮市である。
4. 関東地方の中で北側に位置し、東北地方の各県と接している茨城県の県庁所在地は水戸市、栃木県の県庁所在地はさいたま市である。

問2 成田国際空港における貿易の状況について、航空貨物としての特徴を踏まえた記述として、最も適切な背景や理由を説明しているものはどれですか。 (2021年 香川公立入試 類似)

1. 京葉工業地域の中心に位置し、石油化学コンビナートで生産された製品を直接輸出する役割を担っているため。
2. 船舶に比べて輸送時間が大幅に短縮できるため、製品寿命が短い精密機器や、緊急を要する部品の輸送に適しているため。
3. 日本最大の輸入相手国である中国に最も近いため、安価な原材料を大量に受け入れる拠点となっているため。
4. 広大な敷地を利用して、自動車を数千台規模で一時保管し、そのまま海外へ積み出す設備が整っているため。

問3 千葉県における「生活系ごみ」と「事業系ごみ」の排出状況の変化について、平成10年度と28年度の数値を比較した際の特徴として正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 家庭から出る生活系ごみの削減が進んでいる一方で、排出量全体に占める事業系ごみの割合は高まっている。
2. 事業系ごみの排出量が大幅に減少した結果、ごみの排出量全体に占める生活系ごみの割合が9割を超えている。
3. 生活系ごみと事業系ごみの双方が増加したことにより、1人1日あたりのごみ排出量の合計は過去最高を記録している。
4. 事業系ごみの排出量は全国平均よりも常に少なく抑えられているため、リサイクル率が全国で最も高い要因となっている。

問4 冬の関東地方において、北西の季節風が奥羽山脈や関東山地を越えて関東平野に吹き下ろす際に生じる、典型的な気候の特徴として最も適切なものはどれですか。 (2024年 京都公立入試 類似)

1. 水分を失い乾燥した冷たい風が吹き、晴天の日が多くなる。
2. 水分を含んだ湿った冷たい風が吹き、雪の日が多くなる。
3. 水分を含んだ湿った温かい風が吹き、雨の日が多くなる。
4. 水分を失い乾燥した温かい風が吹き、霧が発生しやすくなる。

問5 千葉県における2015年の統計では、夜間人口（常住人口）が約622万人であるのに対し、昼間人口は約558万人となっています。このように、夜間人口に対する昼間人口の割合を示す指標を「昼間人口比率」と呼びますが、このデータに基づいた場合、千葉県の値はどの区分に該当しますか。 (2019年 和歌山公立入試 類似)

1. 90未満
2. 95以上100未満
3. 100以上105未満
4. 110以上

問6 東京都の人口統計において、練馬区や江戸川区、杉並区などの区に見られる人口の特色を説明したものととして正しいものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)

1. 都心へ通勤・通学する人が多いため、その地域に住んでいる人の数（夜間人口）が、昼間にその地域にいる人の数（昼間人口）を上回る。
2. 住宅地としての人気が高まって都心から多くの企業が移転してきたため、昼間人口が夜間人口を大きく上回る。
3. これらの区はベッドタウンとしての機能を失い、現在は昼間人口と夜間人口の差がほとんどなくなっている。
4. 都心のオフィスビル化が進んだ影響で、昼夜を問わず人口が減少しており、夜間人口が昼間人口を下回る状態が続いている。

問7 日本の諸地域について学習する際、都道府県名と県庁所在地の名称が一致しない事例に注目することがあります。関東地方の群馬県において、県庁が所在している都市の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 千葉県公立入試 類似)

1. 前橋市
2. 高崎市
3. 宇都宮市
4. 水戸市

問8 関東地方の群馬県や栃木県などの内陸部では、自動車工業や機械工業といった「内陸型工業」が大きく発展しています。このように、内陸部において工業が発達した背景にある、交通網の整備に関する理由として最も適切なものはどれですか。 (2021年 奈良公立入試 類似)

1. 高速道路網の整備が進んだことで、生産した製品を消費地や港へ効率的に輸送できるようになったため。
2. 大型の貨物船が接岸できる掘込港が整備され、海外から輸入した原料を直接工場へ運び込めるようになったため。
3. 鉄道の貨物専用線が各工場に引き込まれ、重量のある原材料を一度に大量に輸送することが可能になったため。
4. 新幹線の駅が各地に設置されたことで、工場の従業員が都市部から短時間で通勤できるようになったため。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 関東地方の北東部に位置し、東北地方と接している茨城県の県庁所在地は水戸市、栃木県の県庁所在地は宇都宮市である。	関東地方と東北地方の境界付近の状況を確認すると、茨城県と栃木県はともに福島県と隣接しており、関東から東北へ向かう交通の要所となっています。茨城県の県庁所在地は水戸市、栃木県の県庁所在地は宇都宮市です。前橋市は群馬県の県庁所在地であり、さいたま市は埼玉県の県庁所在地であるため、これらを混同しないよう注意が必要です。
問2	<b>答え 2</b> 船舶に比べて輸送時間が大幅に短縮できるため、製品寿命が短い精密機器や、緊急を要する部品の輸送に適しているため。	航空貨物の最大のメリットは「速さ」にあります。成田国際空港が日本の輸出額でトップクラスなのは、流行や技術革新のスピードが速い電子部品や精密機械、あるいは鮮度が求められる品物を、短時間で世界中に届けることができるからです。自動車の輸出は広大なヤード（保管場所）を必要とするため、通常は海港で行われます。
問3	<b>答え 1</b> 家庭から出る生活系ごみの削減が進んでいる一方で、排出量全体に占める事業系ごみの割合は高まっている。	千葉県のごみ排出量の内訳をみると、合計の排出量は減少していますが、その中身には変化があります。家庭から出される生活系ごみの量が減少している一方で、オフィスや飲食店などから出る事業系ごみが全体に占める比率は微増しており、今後のごみ減量に向けた課題の一つとなっています。
問4	<b>答え 1</b> 水分を失い乾燥した冷たい風が吹き、晴天の日が多くなる。	冬の北西の季節風は、日本海側で雪を降らせた後、山脈を越える際に水分を失います。そのため、山を越えて関東平野に吹き下ろす風は乾燥しており、太平洋側では晴天が続く要因となります。この乾燥した強い風は「からっ風」とも呼ばれます。
問5	<b>答え 1</b> 90未満	昼間人口比率は「 $(\text{昼間人口} \div \text{夜間人口}) \times 100$ 」で算出されます。千葉県の場合、昼間の人口（約558万人）が夜間の人口（約622万人）を大きく下回っており、計算すると約89.7となるため、90未満の区分に該当します。これは東京などの都心部へ流出する通勤・通学者、いわゆる「千葉都民」と呼ばれる層が多いことを反映しています。
問6	<b>答え 1</b> 都心へ通勤・通学する人が多いため、その地域に住んでいる人の数（夜間人口）が、昼間にその地域にいる人の数（昼間人口）を上回る。	東京23区内であっても、全ての区で昼間人口が多いわけではありません。練馬区、江戸川区、杉並区などは主に住宅地としての性格が強く、千代田区などの都心部へ通勤・通学する人が多いため、昼間は人口が流出します。その結果、居住者の数である「夜間人口」が、昼間にその場に留まっている「昼間人口」を上回るようになります。このように、昼夜間人口比率が100を下回る地域は、郊外のベッドタウンと同様の人口構造を持っています。
問7	<b>答え 1</b> 前橋市	群馬県の県庁所在地は前橋市です。都道府県名と県庁所在地名が異なる例は、関東地方では群馬県のほかに、茨城県（水戸市）、栃木県（宇都宮市）、埼玉県（さいたま市）、神奈川県（横浜市）などがあります。群馬県内では、交通の拠点である高崎市と、行政の中心である前橋市が混同されやすいため、正確に覚える必要があります。なお、宇都宮市は栃木県、水戸市は茨城県の県庁所在地です。
問8	<b>答え 1</b> 高速道路網の整備が進んだことで、生産した製品を消費地や港へ効率的に輸送できるようになったため。	自動車工業や電子機器工業などの加工組立型工業は、原材料の重さよりも、完成した製品をいかに早く、計画的に市場へ届けるかが重要視されます。群馬県太田市などの関東内陸部では、北関東自動車道や関越自動車道といった高速道路網の整備により、東京などの大消費地や輸出拠点となる港へのアクセスが飛躍的に向上しました。これにより、トラックを用いた「効率的」な「輸送」が可能となり、内陸部での工業発展に繋がりました。